

## 平成28年度 第1回学校評議員会記録

1 日 時 平成28年7月11日（月） 14:00～15:30

2 場 所 宮古高等学校小会議室

3 参加者 学校評議員 4名（1名欠席）

校長・事務長

（全日制）副校長・総務主任・教務主任・生徒指導課（及川）・進路指導課（久保）

（定時制）副校長・教務主任・生徒指導主事

計 14名

4 記 録（進行 馬場副校長）

委嘱状（4名分）交付（校長より）

(1) 開会のことば（馬場副校長）

(2) 自己紹介

(3) 校長挨拶（本年度の学校運営について）

学校評議員の皆様に対し、日頃より本校の教育活動に対するご理解とご協力を頂いていること、本日もご多忙の中ご出席賜ったことへの感謝の意が述べられた後、本年度の学校運営についての説明があった。夏の高校野球は、本日14:00から宮古高校の試合があり、3学年応援（野球部・3学年団・応援委員・吹奏楽部）ということでの、全日制生徒課・進路課主任が不在となる状況も含め文武両道の取り組みが話された。全日制的進路については、昨年度は国公立大学79名が合格、医学部医学科合格も3年連続となり、自治医科大学合格ということでも何年かぶりに成果をあげた。部活動ではヨット部・ボート部・放送部が全国大会出場を決めている。定時制でも、7名卒業中4名進学2名就職等全員が進路達成しており、部活動では剣道で全国大会出場が決定している。数値目標も全定ともに目標達成し実現の方向にある。本日は学校評議員の方々に様々な観点から忌憚のないご意見を頂き、今後の学校経営に役立てて参りたい。

(4) 学校概況説明（全日制副校長）

資料のとおり

(5) 評議員から

[A 評議員] 学校カウンセラーについて、県のカウンセラーと学校独自（私費）のカウンセラーと両方手厚くカウンセラー制度を導入し活用しているようだが、定時制で利用しているスクールソーシャルワーカー制度を全日制でも活用しているのか。

[全日制副校長] スクールソーシャルワーカーは県事業として本校の定時制でも昨年度利用しているが、全日制では今のところまだ活用する事態には至っていない。

[B 評議員] エンカウンターとはどのようなものなのか、具体的に教えて頂きたい。

[全日制進路] 宮古高校では、様々な地域から入学してくる生徒が多数おり、特に1年生に対し高1ギャップ解消の意味合いもあって、コミュニケーション能力向上を目指して、ペア活動、グループ活動を通して課題解決する等コミュニケーションスキル向上カリキュラムである。

[B 評議員] 支援ネットワーク事業とはどのようなものなのか、具体的に教えて頂きたい。

[全日制進路] 進路指導において、難関大学等については一つの学校だけでは対応が難しい場

合があり、複数の学校がまとまって県からの予算で予備校等と連携しながら大学進学等進路達成を目指す事業である。

〔校長〕 補足：具体的には内陸部の中央沿線地区の学校はともかく、県北や沿岸地域では単独開催、参加等財政状況も含めて厳しく、難関大学進路実現を目指すうえでの予備校等連携による試験対策として実施される。受験指導や研修講習等に参加する場合のバス借り上げ予算補助などがある。

〔A 評議員〕 進学指導について、九州等他の自治体では、東京大学合格100万円支給、他の国公立大学合格は30万円支給などを通して、難関大学進学希望者を増やし活性化を図る状況もあるようだが、宮古高校ではどうか。

〔校長〕 以前にも話題に出したことはあるが、奨学金制度の在り方に工夫の余地はある。医療系大学進学については地元に戻れば返金不要の奨学金制度もあるが、医療系以外大学の奨学金は基本的に支給型ではなく貸与型となり、高い利率で返済に苦慮する状況も耳にする。宮古市に要望を出しているところでもあるが、大学進学と地元復興活性化のためにも支給型の奨学金制度を是非検討して頂けると有り難い。

〔全日制副校長〕 補足：岩泉町など、大学入学料等支援で地元活性化を図る自治体もあるようである。

#### (6) 学校概況説明（定時制副校長）

資料のとおり

#### (7) 評議員から

〔A 評議員〕 定時制の特色として、定時制と通信制が連携して定時制修業年数4年のところを、通信制でも単位修得しながら3年で卒業できる制度があり実践していると聞いたが、その状況を知りたい。

〔定時制副校長〕 その通り、本校定時制でも昨年度は2名の生徒が修業年数3年で卒業しており、今年も2名の生徒が希望している。卒業後の進路希望別にみても進学、就職と両方存在している。

〔定時制教務〕 補足：昨年度の当該制度利用生徒（修業年数3年で卒業）2名の具体的進路先は、1名が岩手県立農業大学校、1名が北日本ヘア・スタイリストカレッジに進学している。

〔A 評議員〕 今の時代、ますます高卒以上の学歴は重要であり、定時制における学びの場の意義は大きく、大切である。

〔校長〕 定時制の社会人枠（21歳以上）ができ、学科試験無しの面接・作文等で受験可能となっていることも、そうした重要性を認識したうえでのものとなる。高校での単位が全く無い者（進路変更含む）であれば編入ではなく高校入試となるが、岩手全域で定時制社会人枠は適用される。

#### (8) 全評議員からの感想・提言

〔B 評議員〕 学習環境の整備、高1ギャップ解消等、今後ますます中高の連携が重要となってくる。今後も授業見学等も含めて宮古第一中学校参観頂ければと思う。

〔A 評議員〕 奨学金問題について、大学でも学生ローン問題として厳しい現状が聞こえてくるが、例えば娘の奨学金の請求などブラック企業は親にも請求をしてくる状況があり、地域全体でも改善に向けて取り組まないといけないと感じた。宮古高校は全日制・定時制ともに頑張っていると感じた。また、通信制・定時制の大切さも改めて認識した。

〔C 評議員〕 文武両道について、特に部活動の運動部に所属する生徒がしまの整骨院に通ってきていて、そこで遭遇する宮古高校の生徒の礼儀正しさに感動する。宮古高校の先生方は挨拶等礼儀指導に厳しく、生徒も自ずときちんと礼儀正しくのるのだと思う。部活動等での指導が、学校以外でも生徒の成長を感じさせてくれる。今後も生徒が頑張ったら褒めて伸ばす指

導をお願いしたい。昔の話だが、自分の息子がヨット部で全国大会出場して勝利しても祝勝イベントは何も無く、野球部が甲子園出場して一回戦で敗退（松井秀喜のホームランで敗れた時）は駅前パレードまで実施したのに、という悔しい思いでヨット部保護者からクレームが入るとホテル沢田屋でヨット部祝勝会が開催された。何であっても生徒の励みになるように生徒を褒めてやって欲しい。

〔校長〕補足：校内でも全国大会の壮行式・報告会、優勝報告会、県でも「はばたき賞」等現在は全国大会等一定の成績以上があればその活躍を称える（褒める）表彰規程が定められ実施されている。

〔D 評議員〕宮古高校が甲子園出場を果たし、松井秀喜のホームランで敗れた時の監督は私の主人の時代のことであった。昔は叱られながら育てられたが、今は褒められて育ち、叱られる経験がないまま社会人となる気がする。今の若い人は社会人でも叱られるとすぐに会社を辞める。褒めるだけでなく、叱られたり、挫折したり様々な経験が忍耐力等を育むのかも知れない。

(7) その他（特になし）

最後に校長より学校評議員の方々に対して謝辞が述べられ閉会。

(8) 閉会のことば（馬場副校長）